



Botswana Medical Information



2019年10月

【2019年10月報道記事抜粋】

● Sidilega Private Hospital 開院

ハボロネのブロック7に新たに100%ボツワナ資本によるプライベート病院が開院した。国際的な評価を得ることを目標としており、救急医療、診断、治療、予防医療も強化する。病床数は110床となり、病院がフル稼働するとSADCの国々からの医療需要の受け皿となり得る。また国内で治療が行えないため南アフリカの医療機関へ患者を送るために政府が支払う年間3億プラを、国内で治療を行うことにより、費用削減となる可能性がある。(23-29日ボツワナガゼット, 23日ボツワナガーディアン)

● HIV/AIDS 治療薬枯渇の危機

最近の高裁の判決により、中央医薬品倉庫が28の抗レトロウイルス薬(ARV)の調達を中止した(注:2019年4月ARVの不明瞭な入札プロセスについて、医薬品製造・販売会社が異議を唱えていた)。このため、国内の治療薬が枯渇し、治療の中断による患者の死や治療薬に耐性のHIVとなる、公衆衛生上の危機にある。医薬品は緊急的対応にて調達をしているが、追加的な費用がかかり、調達も不安定であると保健省は述べた。(サンデースタンダード20-26日)